



赤い羽根
福祉基金

× 盛和塾

「盛和塾社会人 定着応援プログラム」の 取り組み

2019年度

ご寄付額 5億7,574万円

101名の児童養護施設
退所者を支援

赤い羽根福祉基金

冠基金のご報告

赤い羽根福祉基金では、企業・団体等から寄付をいただき、その名を冠した「冠基金」のプログラムにより特定の社会課題を解決する団体へ助成する事業を行っています。

2019年度は、3つの冠基金を実施し、最先端の社会課題に取り組む活動の助成プログラムを行いました。

2019年末に解散した京セラ株式会社創業者である稲盛和夫氏の私塾「盛和塾」からのご寄付を財源として、児童養護施設の退所者に対する助成事業を行っています。

これは、盛和塾からのご寄付を赤い羽根福祉基金で受け入れるにあたって、稲盛和夫氏がこれまでに取り組みされてきた児童養護施設の設定など、社会的養護が必要な子どものための活動の想いを受け、児童養護施設の退所者で、高校卒業後に自活しながら学び続け、就職して社会に出ようとする若者への支援活動をプログラムにしましたものです。2019年度には次の3つの助成プログラムを実施しました。

①「盛和塾 就職活動応援助成」

助成総額 470万円 助成対象者 47名

大学や専門学校等に進学した児童養護施設退所児童の就職活動時の生活費や就職活動に必要な物品の購入費、交通費等に係る助成を行いました。

②「盛和塾手に職つけよう応援助成」

助成総額 540万円 助成対象者 54名
国家資格等の取得を目指して、大学や専門

学校に進学した児童養護施設退所児童の国家試験受験にかかる費用や、教材費、実習費等の助成を行いました。

③「盛和塾リスタート応援モデル助成」

助成総額 270万円/年 助成先 5施設・組織

児童養護施設を退所後、就職した児童が諸事情により離職した際に、再就職に向け金銭支援も含めた伴走型の相談支援を行うモデル助成事業を2020年度までの2か年にわたり行います。

助成を受けた若者の声

皆様の応援には本当に感謝してもしきれません。経済的支援は夢を追いかける者にとってとても貴重な助けになります。自分は大学で様々な力を身に付け国家試験も合格しました。春から同じ境遇にいる子ども達の支援を行う仕事に就きます。今まで支えていただいた全ての方々へ恩返しの気持ちを込めて頑張ります。

■アサヒ飲料株式会社

「子どもたちの 明るい未来づくり基金」 赤い羽根福祉基金」の取り組み

2019年度 寄付額 2,500万円

114か所の子ども食堂、
4か所のネットワークを支援

アサヒ飲料株式会社では、全社を挙げて取り組む「三ツ矢」の日（3月28日）・「カルピス」の誕生日（7月7日）に関連した店頭での「三ツ矢」ブランド・「カルピス」ブランドの売り上げの一部を、子どもたちの明るい未来づくりのために寄付する全社運動を実施しています。



2019年度の全社運動は、社会貢献の要素をもたせた全国的なキャンペーンの2年目として支援が行われました。全都道府県の共同募金会を通じて、全国114か所の子ども食堂、及び子ども食堂の安定的運営に必要な

とされる各地域における組織間のネットワークに助成され、運営基盤の整備と継続的な運営のために役立てられました。

またあわせて、同社の製品の物品寄贈も行われ、「カルピス」や「三ツ矢サイダー」を囲んで、全国の子ども食堂に子どもたちの明るい声が響き渡りました。

同社には、全国すべての都道府県・市区町村に協力組織のある共同募金会を評価いただき、協働することができました。

石岡ハーモニーネット ホカホカもぐもぐ食堂の活動者の声

昨今、子どもたちの貧困のほかにも、多世代にわたる孤立、孤食についても、大きく課題となっています。

そこで、助成していただいたお金や物品を活用させていただき、子どもたちをはじめ多様な世代が、「食」を通してコミュニケーションをはかれる、楽しい居場所にしていきたいと考えています。

このたびは、誠にありがとうございました。

■企業との連携による主な取り組み

～株式会社NTTデータとの協働による「サービスデザイン講座」（2020年2月6日開催、25名参加）～

企業から本業、人材、インフラ、施設、ネットワーク等のリソースを提供いただく協力事業を実施しました。

具体的には、株式会社NTTデータのサービスデザイン領域におけるデザイナー集団の新ブランド「Tangity (<https://tangity.design/>)」により、NPOの支援活動内容のさらなる向上と継続を目的とし、本基金の助成先団体のフォローアップ活動の一環として、実施しました。

同社が講座を企画実施し、企業の顧客ニーズの発見力や課題設定から解決へつなげる手法を、8団体が同社の社員とともに学ぶ機会となりました。

社会を良くするのひと一歩

NTT Data



安心して暮らせる地域社会の実現へ

Tangity

part of NTT DATA
Design Network



株式会社福祉保険サービスからのご寄付を財源として、身体や精神の障害や、何らかの課題や生き

16施設を支援

2019年度ご寄付額 6,000万円

株式会社福祉保険サービス 救護施設等セーフティネット 機能強化助成プログラム

株式会社福祉保険サービス

救護施設ナザレ園の職員の声

今回の助成事業によって、事業所の専門性をさらに高め、施設機能を地域に開放し、地域課題に取り組むことができるようになりました。地域の中で生きづらさや働きづらさ、疎外感を持ちながら生活している方々が、少しでも将来に希望をもって生きるためのきっかけになればと考えています。

今後も皆様の貴重なご寄付で整備した拠点をフルに活用し、地域の課題に取り組んでいきたいと思ひます。

づらさを抱えていて、日常生活を営むことが困難な方たちが利用している救護施設に対して助成事業を行っています。

これは、救護施設におけるセーフティネット機能の強化を図ることを目的とした事業であり、「地域住民の孤立防止を目的としたサロンの開催」や「女性の依存症者と暴力被害者の受け入れ」など先駆的・モデル的な取り組みを行う16施設に対して助成が行われ、救護施設で生活する障害者の地域移行や自立生活の継続支援、地域の生活困窮者支援等に役立てられました。

■「企業のCSRとつながるテーマ」によるご支援

～助成先団体のサポーター企業～

株式会社アルトナー（本社：大阪市北区）は、CSR活動の一環として、地域の一員として次世代のモノづくりを担う人材に対して、学会への参加や産学連携を通じた教育支援も行い、「誰一人取り残さない」社会実現をめざしています。

こうした趣旨に合致する活動へのご寄付として、本基金助成事業における地域で困窮する子どもとその家庭に対する支援を行う「豊島子どもWAKUWAKUネットワーク」の活動に対して100万円をご支援いただきました。

